

巻頭言



副支部長 小林 裕之
(東山の下小学校 平元年度)

ときわプライド

～「志」の継承そして未来へ～

令和6年1月1日(月)午後4時10分。能登半島地震が発生しました。自然は時を選ばずに容赦なく私たちに試練を与えました。亡くなられた方をお悼みし、被災された方々に対し心からお見舞い申し上げます。

令和5年度は、ときわ会創設150周年の節目の年度でした。10月1日(日)朱鷺メッセで開催された記念式典・アトラクションには、3,000人の会員が集いました。圧巻だったのは、佐藤ひらりさんがときわ会のために作詞作曲したオリジナル応援曲「ときわプライド」でした。会場は、透明感ある伸びやかな歌声と感動の渦で包まれました。スタンディングオベーションと大きな拍手は、経験したことのない光景でした。

この応援ソングの作詞作曲にあたり、ひらりさんからときわ会に、イメージを広げるための打合せをしたいとの提案がありました。令和5年3月9日(木)に150周年事業企画委員とひらりさんとの打合せの会が実現しました。場所は、何と東区の本NOCプラザです。ときわ会本旨と歴史、150周年に込めた私たちの願い、さらにはコロナ禍における教育現場の苦労や挫折を聴いていただきました。そして、教師としての使命感、教育の未来への熱い思いまで……。すると、

「アッ!今これだというフレーズがおりてきました。」ひらりさんが、嬉しそうに叫ぶのです。

式典当日のアトラクションの後に、「この曲が聴く人にとって勇気や自信、新しい一歩を踏み出すきっかけになり、扉を開けるきっかけになってほしい。そして、未来の子どもたちのために一生懸命努力を重ねる先生方が、この先、挫折や苦難にあい立ち止ま

ときわプライド
作詞・作曲 佐藤ひらり

1 前を向き 歩いてきた
自分と出会い 進化し続け
煌めく 目に映るのは
一人一人の 夢見る未来
高めあい 繋がりあい
大切なもの 見つける旅へ
誰かの未来に種蒔いて
自分の過去も 輝いてゆく
あの時懸命に開いた道は
彼方へと伸びてゆき
同じ志抱く人を 導く道になる
切り開こう ぼくらの明日を
繋げよう 誰かの未来へ
揺るがず前へと 誇りを胸に
溢れる希望の先へ

2 突然に霧が降りて
今までの道 全て閉ざして
手探りで 光求めて

道なき道も 走りまわった
そんな時 感じた視線
私は今試されている
この間を 越えられるかで
きつと未来は変わるはずだと
不安しか見えず旅立つ春も
気づかせてくれたんだ
この当たり前の日常さえ 奇跡
だってことに
描いてゆこう 夢へのストー
リー
信じよう 無限の可能性
一歩ずつ 絶えず歩いて行ける
未来へ扉開けて
思うように進めず 苛立つ時も
真に大切なのは新たな未来を
つくり続ける
努力と志 (こころざし)
切り開こう ぼくらの明日を
繋げよう 誰かの未来へ
揺るがず前へと 誇りを胸に
溢れる希望の先へ

ることがあってもこの曲を聴いて進化、深化し続けてもらいたい。」との曲に込めた想いを聴かせていただきました。

今年度も挫折や困難と何度も向き合いました。しかし、今年度も子どもたちの笑顔や成長に直面し手応えを感じたこともありました。私たちの仕事は、誰かの未来に種をまく仕事だと改めてかみしめています。

来年度に向けて、自分らしく一歩前へ踏み出そうと思っています。皆さんはいかがでしょう。



←このQRコードで
「ときわプライド」
YouTube 限定公開動画を
ご覧いただけます。